

平仮名の読み書きに関わる力 おん いん いし き 音韻意識ってなに？



おん いん いし き

音韻意識とは

言葉を1つ1つの音に分けたり、音を操作する力のことを
おん いん いし き
音韻意識といいます。4～5歳頃になると育ってきます。
おん いん いし き
音韻意識の力がついてくると音と文字を結びつけることができるようになるため、平仮名を読んだり書いたりする力が身についていきます。

おん いん いし き

音韻意識の力には種類があります。

ぶん かい

分解

言葉を1つずつの音に分解する

例) 「さかな」→「さ/か/な」

ちゅう しゅつ

抽出

言葉の中から音を抜き出す

例) 「さかな」 最初の音は何？→「さ」

さく じょ

削除

言葉の中から決まった音を抜いていう

例) 「さ」の音を消す→「かな」

ぎゃく しょう

逆唱

言葉を反対からいう

例) 「さかな」→「な/か/さ」

おん いん いし き

他にも音韻意識が育つと、
言葉を正しく聞けるようになったり
言い誤りが減るよ！



育てる遊び



・ じゃんけんグリコ

「ぐりこ」「ちよこれいと」「ぱいなつぷる」と言いながら階段を進んでいく遊びです。1つずつの音に分ける練習になります。

・ ことばさがし

お題の音から始まる言葉を探す遊びです。一緒に書き出したり言えた数を勝負したりしても楽しめます。

例) 「あ」から始まることばさがし→「あり」「あめ」

・ しりとり

前の人と言った言葉の最後の音を使って、次の言葉を考えてつなげていく遊びです。文字を書きながら遊ぶことも1つです。



遊ぶ時のポイント💡

子どもが「楽しい」と感じる事が大切！間違っても叱らず「おいしいね!」「あと少し!」と肯定的に伝えましょう。
また、「今は音を聞く遊びだよ!」と伝えて、音に注目できるように声かけをしていきましょう!

当院の言語聴覚療法では、ことばやコミュニケーションの発達について発達の見立てや指導、助言などを行っています。
相談をご希望の場合は、当院小児科へお問い合わせください。